

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年6月14日（水）

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO8

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

本に親しむ



左の写真は、図書室前に掲示してある低学年用の読書クイズです。第1問目は、はらぺこあおむしが月曜日に食べたものは何でしょう？第3問目は、でこちゃんの本当の名前はでこちゃん。どうしてでこちゃんと呼ばれるようになったのでしょうか？です。実際に本を手にして確かめたいくなりますよね。今、図書室では、読書まつりということで、他にビンゴや学年対抗での冊数比べなど様々な工夫を行い、本に親しめるようしています。

読書の良さは何でしょう？皆様もご承知とは思いますが、語彙の獲得、文法の習得、知識が身に付く、想像力が高まる、思考力が身に付く、心が落ち着く・・・数えきれないほど良さがあります。

国語科では、物語や説明文の学習が1年生から繰り返しあります。説明文の学習をすることで、自分が伝えたいことを効果的に伝える方法を身に付けていきます。物語の学習は、感動や優れた叙述に触れることもあります。私は、「想像力」を高める良さがあると思っています。例えば「ドラえもん」の絵を描いてくださいと言われたら多少差はありますが、大体みんな同じような「ドラえもん」を描きますよね。

では、6年生国語、宮沢賢治「やまなし」に出てくる『クラムボン』を描いてくださいと言われたら皆さんはどう描きますか？きっと100人描けば100通りのクラムボンが描かれると思います。自分が想像した自分だけのクラムボンができると思います。

この想像力は、非認知能力の一つで、人生を豊かにしていく上で、とても大切な力だと思います。友だちや身近な人、また、家族と関わる時に、「相手はどんな気持ちになるかな」とか、「何を求めているのかな」と考える「想像力」は、円滑にコミュニケーションを進めるうえで大切な力です。さらに、物事をうまくすすめると同時に危険を回避するためにも必要な力となります。

梅雨の季節です。週末お出かけできない時に、雨音をバックに家族で読書に親しむのもよいのではと思います。5年生の娘をもつ月原家では、卒業してしまいましたが、低学年のころまでは、21時過ぎに布団に入り、昔話を一話読み聞かせをすることを日課としていました。